

平成 30 年度事業計画書
平成 30 年 4 月 1 日から 31 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 大阪コミュニティ財団

近年、わが国でも福祉や医療、教育、環境保護、災害復興など様々な社会課題の解決に、行政でも私企業でもない多様な主体が取り組んでおり、寄付を通じた公益活動に関心が高まっている。

こうした中で設立 28 年目を迎える当財団としては、各地域・各分野において活動する民間非営利団体への支援を拡充するため、事業の基盤である基金の新たな提供者（ドナー）と、その「お志」に沿った活動を行う NPO 等の発掘に積極的に取り組み、両者をつなぐ役割を強化する。

1. 基金の募集・受入・管理

- ・プロフェッショナル・アドバイザーへの情報提供と協力依頼
- ・ドナースフォーラムの開催（大阪）など基金寄付者との良好な関係の構築
- ・基金の安全かつ効率的な運用管理と新たな受入・運用方法の検討

2. 助成事業の実施

- ・当財団および事業の周知・PRによる新規申請団体・事業の発掘
- ・基金寄付者の「お志」に合う効果的な助成事業の採択（一般基金、分野指定基金等）
- ・助成事業の成果発表会（全分野対象）の開催（大阪）
- ・テーマ別ワークショップの開催（大阪）
- ・「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」による助成事業の成果発表会の開催（大阪で初）
- ・助成金目録贈呈式の開催
- ・助成管理業務（募集・申請・選考等）の見直しと効率化のための検討

3. 社会貢献活動に関する調査研究・普及・啓発活動

- ・「大阪コミュニティ財団の集い」の開催（東京）
- ・助成先団体への訪問活動調査

4. 広報活動

- ・プレス発表、新聞・雑誌等への広報活動
- ・ホームページの充実、SNS による情報発信方法の検討
- ・「事業報告」「基金の現況」「助成事業一覧」『財団 NEWS』の作成、発行
- ・『My 基金 Our 基金でコミュニティに貢献』等の基金募集ツールの配布

以上